

第5回 海の環境づくり勉強会

《陰イオン界面活性剤について

—沿岸域での動態とリスク評価に向けて—》

2018年9月27日に第5回海の環境づくり勉強会を開催しました。

講師：中村 由行先生（国立大学法人横浜国立大学大学院
都市イノベーション研究院 教授）

日時：2018年9月27日 15:00～17:00

会場：東京都港区虎ノ門3丁目1番10号
第2虎の門電気ビルディング3階会議室

国立大学法人横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院教授の中村先生をお招きし陰イオン界面活性剤についてお話しいただきました。

界面活性剤とは何か。直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩(LAS)について、生分解性を含めてその特徴や水環境における歴史について詳しくご説明いただきました。基本的なリスクの考え方や新しい法制度の中での環境への影響について、OECDの取り組みについてお話しいただきました。名古屋港での別の化学物質での調査事例を取り上げ、人への健康影響評価から生物・生態系への影響評価がどのようにされているかを解説いただきました。



参加者と討論をしている中村先生

界面活性剤	略称	分類	有機炭素分配係数 K_{oc} (L/kg)	構造式
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩 (Linear Alkylbenzene Sulfonate)	LAS	陰イオン	2.50×10^1	$R-C_6H_4-SO_3Na$ ($R=C_{12}H_{25}-C_{18}H_{37}$)
アルコールエトキシレート (Alcohol Ethoxylate)	AE	非イオン	6.57×10^1	$RO-(CH_2CH_2O)_n-H$ ($R=C_8H_{17}-C_{12}H_{25}$) ($n=1-18$)
アミノオキシド (Amino Oxide)	AO	両性	1.88×10^1	$R-N^+(CH_3)_2-O^-$ ($R=C_8H_{17}-C_{12}H_{25}$)
エステルアミド型 ジアルキルアミン塩 (Ester-Amide Type Salt) (anionic salt)	EA	陰イオン	5.08×10^1	$CH_3-C_2H_4OOCOR$ $H-C-NHCOOR$ Cl ($R=C_8H_{17}-C_{12}H_{25}$)
トリエタノールアミン 4級塩 (Tri Ethanol Amine Quaternary salt)	TEAQ	陽イオン	6.88×10^1	$CH_3-C_2H_4OOCOR$ $HOC_2H_4N^+(C_2H_4OOCOR)_3$ $CH_3SO_3^-$ ($R=C_8H_{17}-C_{12}H_{25}$)

西岡ら(水環境学会誌Vol.41, 2018)による

界面活性剤の略称、分類、 K_{oc} 、構造式

主催：一般財団法人 海域環境研究機構

共催：一般財団法人 みなと総合研究財団